

# Canon

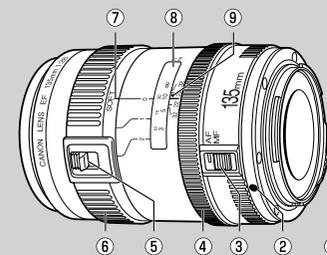
## EF レンズ

EF135mm F2.8 (ソフトフォーカス機構付き)

## 使用説明書

### 各部の名称

- ① 接点
- ② レンズ取り付け指標
- ③ フォーカスモードスイッチ
- ④ フォーカスリング
- ⑤ ソフト/ノーマル切り換えスイッチ
- ⑥ ソフトリング
- ⑦ ソフト目盛
- ⑧ 距離目盛
- ⑨ 被写界深度目盛



キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

EF135mm F2.8 はソフトフォーカス機構を内蔵したレンズです。

### △ 安全上のご注意

1. レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因になります。
2. レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

### △ 取り扱い上のご注意

レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着(結露)することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。

### 1. レンズの着脱

レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。

- \* レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- \* 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- \* 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- \* レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、レンズ取り付け指標とダストキャップの○の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。

### 2. フォーカスモードの設定

オートフォーカス(AF)で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。(図③)  
マニュアルフォーカス(MF)で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを回します。  
\* ソフト撮影時はMFでのピント調整が難しいため、AFの使用をおすすめします。

### 3. ソフト目盛の設定

ソフト目盛は0、1、2とあります。数字が大きくなるほどソフト効果が得られます。なお、0はソフト効果なしの設定位置です。ソフト目盛を設定するときは、ソフト/ノーマル切り換えスイッチを矢印方向にスライドさせながら、ソフトリングを回します。(図④)

#### <ソフト量と絞りの関係>

通常のポートレート撮影では、絞りF2.8(開放)、ソフト目盛2の組み合わせでの撮影をおすすめします。また強い逆光やハイライトがある場合は、ソフト目盛1での撮影をおすすめします。

- 目安としてのソフト効果はファインダー像のハイライト部分で確認できます。
- ソフト量は絞り値によっても変わりますので、絞り優先モードでの撮影をおすすめします。
- ソフト目盛と絞り値の組み合わせによる効果は、別紙(ソフト目盛りと絞り値の組み合わせ作例写真)をご参照ください。

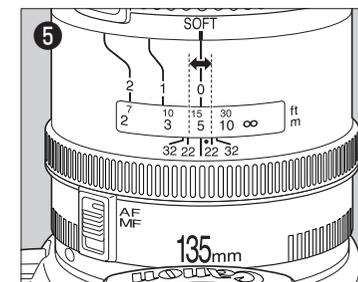
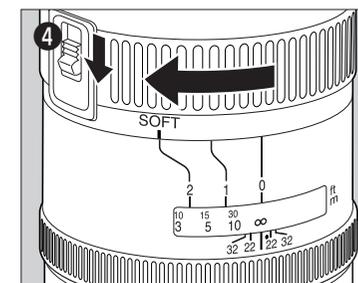
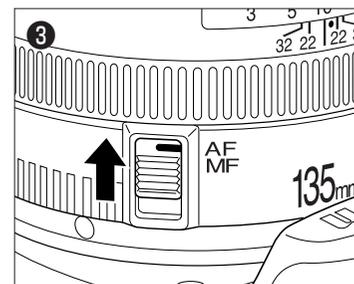
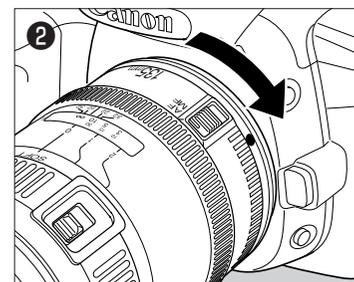
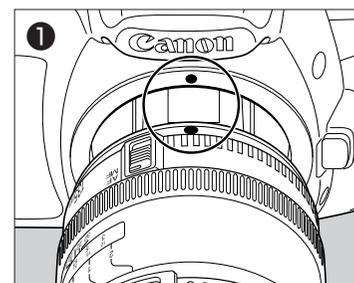
### 4. ピント調整

ピント調整はソフト目盛を設定した後に行ってください。

### 5. 被写界深度目盛

ピントを合わせた被写体の前後で鮮明に写る一定の範囲を被写界深度といいます。被写界深度の範囲は距離目盛下部の被写界深度目盛ではさまれた範囲となります。目盛上の数値はF値を示しており、例えば撮影距離が5mで絞りF2.2の場合は、約4.5mから7mまでが鮮明に写る範囲となります。(図⑤)

- \* 被写界深度目盛はあくまでも目安です。



## 6. 赤外指標

赤外指標は、白黒赤外フィルム使用時のピントを補正するためのマークです。MFでのピント調整後に、距離目盛を赤外指標の位置までずらして撮影します。(図⑥、⑦)

\* 赤外指標は800nmの波長が基準になっています。

\* 赤外フィルムに記載されている注意事項も必ずお読みください。

\* 赤フィルターを使用してください。

## 7. フィルター (別売)

フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。

\* 偏光フィルターはキャノン円偏光フィルター (52mm) を使用してください。

## 8. より美しいソフト効果を得るために

### (1) ライティングについて

一般にソフト撮影では逆光、半逆光で撮った方が美しい効果が得られます。なお画面外からの光の影響を避けるため、フードの使用をおすすめします。

### (2) 被写体の前景、背景について

通常のソフト撮影では被写体の背景として黒っぽいものを選んだ方が美しい効果が得られます。また被写体の前景にボケを作る構図は、ボケ味が良くないためおすすめしません。

### (3) 撮影距離について

このレンズは3～5mで最も高いソフト効果が得られます。

### (4) 露出について

一般に露出は適正よりややオーバー気味の方が美しい効果が得られます。

## 9. 主な仕様

焦点距離・明るさ	135mm F2.8	
レンズ構成	6群 7枚	
最小絞り	F32	
画角	対角	18°
	垂直	10°
	水平	15°
最短撮影距離	1.3m	
最大撮影倍率	0.12倍	
画界	188 × 282mm	
フィルター径	52mm	
最大径×長さ	69.2 × 98.4mm	
質量	390g	
フード	ET-65III	
レンズキャップ	E-52	
ケース	LP1016	

■ レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。キャップおよびダストキャップをつけたときの長さは表示寸法+21.5mmになります。

■ 大きさ・質量は本体のみの値です。

■ 絞り値はカメラ側で設定します。

■ 記載データはすべて当社基準によります。

■ 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

## アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために不可欠な部品)は、日本国内において、製造終了後7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、キャノンサービスセンターにお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

## キャノン EF レンズホームページ

[canon.jp/ef](http://canon.jp/ef)

## キャノンお客様相談センター

**050-555-90001** (直通)

受付時間〈平日〉9:00～20:00〈土/日/祝〉10:00～17:00  
〈1/1～3は休ませていただきます。〉

\* 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-3455-9353をご利用ください。

\* 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

